

学習内容報告書 フォーマット

| | |
|-----|----------------|
| 学校名 | 山形県鶴岡市立大山小学校 |
| 授業者 | 2年担任 澤田牧子 山口媛花 |

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

山形県鶴岡市立大山小学校

1-2. 学年

第2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

- ・学区内に「クラゲドリーム館」（鶴岡市立加茂水族館）があるため、水族館との連携を図り単元づくりを行う。
 - ・1年生で実施している、加茂水族館の見学学習を、2年生次では、若干バージョンを挙げて実施した。クラゲ学習館で、クラゲの飼育について学習する時間を設定し、海の生き物の生態やそこに関わる人々の働きについても学ぶことができるようにした。
 - ・見学後は、実際に浜辺に出て、ビーチコーミングを位置づけ、海に実際に触れる活動も取り入れた。
- 【カリキュラムマネジメント】**
- ・生活科中心として、道徳との関連も図った。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

加茂水族館見学活動を通して、海の生物に触れることを通して、海の不思議さや多様性について、知る。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

知識・技能＝海にはたくさんの生き物が生きていることを知る。
思考力・判断力・表現力＝見学を通して知ったこと、わかったこと、不思議に思ったことを自分なりに表現の仕方を工夫してまとめることができる。
学びに向かう人間性＝興味や関心を持ちながら、活動に取り組もうとする。
見学を通して、海の生き物のおもしろさや不思議さを感じることができる。

1-7. 単元の展開（全8時間）※教科横断的単元として実施

◎←昨年度までと変更したところ、学習効果を上げるために配慮した事項。

| 時 数 | 学習活動・主な内容 | ◆教師の指導 /◇ 主な評価 ■外部連携 /□使用教材等 |
|-------------|---|--|
| 1 | 生活科 ○活動オリエンテーション ・活動のめあての確認 ・活動内容を知る | ◆ねらいを理解させる ◎単に見学に行くだけでなく、「発見」をしてくる ということがめあてであることを児童が理解し た上で見学に臨めるように指導 |
| 2 ～ 5 | 生活科・図工 ◎クラゲの絵を描くことをとおして、昨年度見学 のイメージを想起させる。 ○クラゲドリーム館（加茂水族館）見学 ・校外学習として実施 ・一般の来場者と同様に水槽やショーの見学 ・クラゲ学習室でのクラゲ飼育の学習 | ■クラゲドリーム館施設案内ボランティア →各水槽の生き物の説明をしてくださる方からの 支援をいただいた。 |
| 6 7 | 生活科 ○見学のまとめ ・絵と文で、体験をまとめた。 ・自分が見つけたことがわかるようにワークシ ートを活用 | ◇見学を通して知ったこと、わかったこと、不思議 に思ったことを自分なりに表現の仕方を工夫して まとめることができたか |
| 8 | 生活科 ○体験発表 ・自分がまとめたシートを使って、発表 | ◇相手に伝わるように話すことができたか？ |

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 8 時間中の 2~5 時間目 見学学習

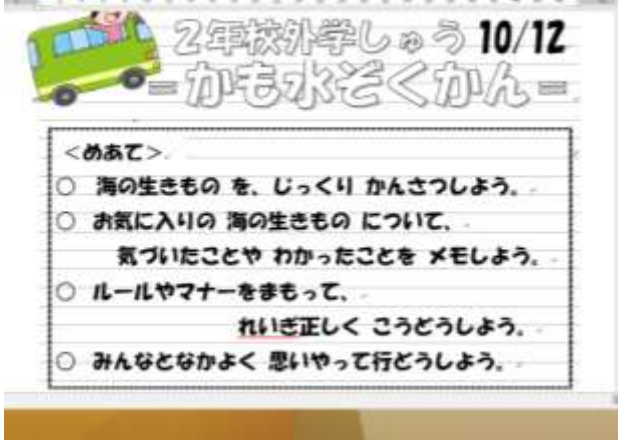

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

見学活動を通して、海にはたくさんの生き物が生きていることを知る。

◎クラゲを育つ仕組みや、水族館の人たちの関わりを知る。

2-3. 本時の展開

| 主な学習活動 / ○反応 | 教師の指導・支援 /◇ 評価の視点 (方法) |
|--|---|
| <p>1 学校発→バス移動</p> <p>2 会場着</p> <p>3 見学活動開始</p> <p>4 学習室での水族館やクラゲ飼育の学習</p> <p>○昨年度は、見学するだけ（他のお客さんと同じスタンス）だったが、実際に、クラゲの生態について説明をうけることで、児童の興味関心が、より高まった。</p> <p>5 見学終了</p> <p>6 水族館発→バス移動</p> | <p>教師は、活動の見守り、児童のつぶやきを拾い、興味や関心が高まるように関わる</p>   |

3. 今回の活動の自己評価

成果○課題▼

○新学習指導要領の実施を受け、他教科との関連を意識し、カリキュラムマネジメントの視点で、ねらいを整理した。生活科にだけでなく、道徳や図工の学習とリンクさせることで、「海の生き物」への関心を高めることができた。

課題▼

過年度の反省を踏まえて実施したことにより、学習の展開や内容とも効果的に実施できた。

4. 今後の課題

・ある程度、本校としての形ができあがっているので、今後も持続可能な学習活動にしていくことを意識して取り組んでいく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・活動の実践としては、いわゆる校外学習的な活動ではあるが、前述のとおり、2年生の海の学習として位置付けた活動となるので、1学年の実践また、多学年と合わせて見ていただくことが必要。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。